

2022年2月12日

2021年度長野大学「信州上田学」学びの成果発表会について

長野大学地域づくり総合センター

開催の目的

長野大学地域づくり総合センターでは、上田市からの補助金による信州上田学事業を推進しています。昨年に引き続き、本事業では年度末に、今年度の活動を報告する成果発表会を開催する予定です。

現在の新型コロナウイルス感染状況を鑑みて感染防止のため、今年度はオンライン形式で開催する運びとなりました。上田市長と上田市学園都市推進室の皆様には、オンラインにてご臨席いただきますようお願い申し上げます。

担当教官や学生たちから、各自の学習成果やテーマごとに地域課題報告の機会を得ることにより活動を振り返る節目として、またコロナ禍により発表の機会が減った学生たちに発表の場を提供します。

成果発表会の内容は後日長野大学のサイト等に公開する予定です。これにより、上田市および上田市民と地域の実情および課題を共有し合い、地域連携の萌芽的機会とします。

記

- 期日：2022年2月12日（土）午前10時から正午まで
- 形式：オンライン開催（URLは別途ご連絡させていただきます）

発表は、以下の2部構成とさせていただきます。

[第1部 「信州上田学」プロジェクト報告：上田市負担金による取り組み](#)

[第2部 講義「信州上田学」：長野大学における取り組み](#)

以上

別紙に、各取り組みの発表概要をまとめました。

2021 年度長野大学「信州上田学」学びの成果発表会（発表概要）

第 1 部 「信州上田学」プロジェクト報告：上田市負担金による取り組み

取り組み（担当教員）	発表タイトル	発表概要	学生発表
「子どもから高齢者まで幅広く学べる地域資料のデジタルアーカイブ化」 「上田学デジタルコモンズ」 (企業情報学部 前川道博 教授)	「地域資料のデジタルアーカイブ化・信州上田学デジタルマップ」	今後、消失が懸念される地域の貴重な資料・道具などについて、当時を知る方々のお話も交えて、信州上田学デジタルマップにアーカイブ化しました。 事業の概要とアーカイブサイトについてご紹介する予定です。 信州上田学デジタルマップは、誰でもマイサイトの作成が可能であり、信州上田学 A でも学習の成果を蓄積する学習支援ツールとして活用しました。	2 年生 1 名
「野倉別所地区里山アグロフォレストリー・プロジェクト」 (環境ツーリズム学部 古田睦美 教授)	「昔の暮らしがしのばれる古道歩きと里山絵図の作成」	(一社)信州上田里山文化推進協会と協働し、団体がとりくむアグロフォレストリー・プロジェクトに学生が参加して、忘れられている里山の価値を紹介するための絵図を作成しました。 プロジェクトの活動内容についてと作成した里山絵図の紹介します。	4 年生 1 名
「舌喰池水鳥観察会」 (環境ツーリズム学部 高橋一秋 教授)	「塩田平のため池群を利用する鳥類の特徴と舌喰池の看板作り」	里山再生学ゼミでは、2016 年からの 6 年間に、塩田平ため池群を利用する水鳥の調査・研究を行ってきました。その成果の一部を報告しました。また、塩田平のため池を愛する会と手塚自治会からのご協力を得て、可動式看板「舌喰池で観察される鳥類」を作成しました。これも披露します。	4 年生 1 名

第2部 講義「信州上田学」：長野大学における取り組み

取り組み（担当教員）	発表タイトル	発表概要	学生発表
<p>前期開講「信州上田学B」</p> <p>（環境ツーリズム学部 市川正夫 教授） （企業情報学部 石川義宗 准教授）</p>	<p>「フィールドワークから、五感で上田を学ぶ」</p>	<p>上田市内でフィールドワークを実施しました。神社や寺院、資料館や美術館、製糸工場などを巡り、上田の歴史・地理・観光等を学びました。</p> <p>また、フィールドワークを通して、学生たちが主体的に地域課題や問題点を発見し、解決策や打開策を探りました。</p> <p>周知方法などについて、様々に考察を深めました。中には若者らしいユニークな意見もありました。</p> <p>前期講義で学習した内容やフィールドワークの課題や打開策について発表します。</p>	<p>-</p>
<p>後期開講「信州上田学A」</p> <p>（企業情報学部 前川道博 教授）</p>	<p>「地域のテーマをキュレーション」</p>	<p>学生個々に任意のキュレーションをテーマに、関心事に取り組みました。学生が地域に足を運んで、地域を探索しました。探索したテーマを対象化して伝える手法を学びました。その学習の成果を発表します。</p> <p>発表概要①で取り上げる、上田学デジタルコモンズに学生が作成したマイサイトを発表者から紹介します。</p>	<p>1年生4名</p>

取り組み（担当教員）	発表タイトル	発表概要	学生発表
地域協働活動(信州上田学発展科目) 「梔子ワイナリーを盛り上げよう！」 (環境ツーリズム学部 松下重雄 教授)	「梔子ワイナリーを盛り上げよう！」 活動報告	梔子ワイナリーのヴィンヤードでのさまざまな作業やワイン醸造体験、ワイナリーショップでのインターンシップ等をつうじて、地域とともに歩むワイナリーの運営を学びました。そうしたプロセスを通じて、地域イベント「梔子マルシェ」において、来場者のニーズをとらえた学生企画を実践しました。 https://www.nagano.ac.jp/education_research/chiiki/2021/winery/	2年生 4名
地域協働活動(信州上田学発展科目) 「日本遺産ガイドコース」 (環境ツーリズム学部 古田睦美 教授)	「日本遺産ガイドコース」活動報告	塩田平ボランティアガイドの会のみなさまと協働し、上田・塩田の文化財をめぐる、日本遺産となった上田・塩田平を満喫できる新しい観光コースや若い世代からの提案を発表する予定です。 学生が提案する日本遺産「レイラインがつなぐ龍と生きるまち上田」の4つの観光コースをご提案します。	2年生 1名 3年生 3名